能ケ崎市スポーツ施設長寿命化計画 (個別施設計画)

令和3年3月

龍ケ崎市

目次

第1章 計画の概要	1
1. 1 計画の背景と目的	2
1. 2 人口動向と財政状況	3
1.2.1 人口動向	3
1.2.2 財政状況	4
1. 3 計画の位置付けと計画期間	6
1.3.1 計画の位置付け	6
1.3.2 計画期間	7
1. 4 対象施設	8
第2章 スポーツ施設におけるストック適正化に関する現況評価	11
2. 1 基本情報の把握	12
2.1.1 基本情報	12
2.1.2 地域スポーツ施設の情報	17
2. 2 ストック適正化に関する現況評価	19
2.2.1 評価項目	19
2.2.2 評価方法	22
2.2.3 評価結果	27
第3章 スポーツ施設における対策の優先順位	34
3. 1 ストック適正化に関する基本方針	35
3. 2 長寿命化に関する基本方針	38
3.2.1 長寿命化対策の考え方	38
3.2.2 保全方法	40
3.2.3 目標使用年数	41
3.2.4 部位・設備の修繕・更新周期	43
3.2.5 施設整備の水準	46
3.2.6 改修等の優先度	47
第4章 長寿命化等の対策費用とロードマップ	50
第5章 計画の実現化方策	58
5. 1 フォローアップの実施方策	
5.2 推進・取組体制	

第1章 計画の概要

1. 1 計画の背景と目的

【背景】

本市では、市が保有・管理する庁舎、学校、スポーツ施設等の公共建築物及び 道路、下水道等の社会基盤施設(以下、「インフラ」という。)の管理運営や維持 更新を長期的・戦略的に行っていくため、平成25年2月に「龍ケ崎市公共施設 再編成の基本方針」を策定したところです。

さらに、総務省通知の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」、 及び「龍ケ崎市財政運営の基本指針等に関する条例」第9条の規定に基づき、平成28年3月には本市の公共施設及びインフラ(以下、「公共施設等」という。) を対象とした「龍ケ崎市公共施設等総合管理計画」を策定しており、市の財産の 保有状況を把握・分析し、維持更新費用の見込みを明らかにしつつ、公共施設等 の総合的かつ計画的な管理運営を推進していくための基本方針としています。

【目的】

「龍ケ崎市スポーツ施設長寿命化計画(以下、「本計画」という。)」は、前述した背景を踏まえ、本市が所管する公共施設等のうちスポーツ施設を対象として策定する計画であり、老朽化による建物自体の劣化や設備の不具合等の問題を是正していくため、総合的・中長期的かつ多角的な視点で更新・改修・維持管理にかかる費用を算出するものです。

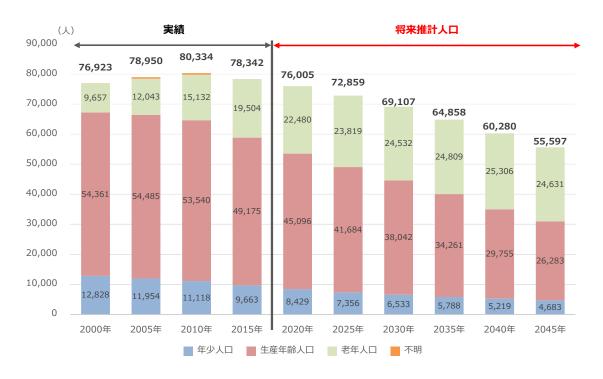
また、本計画は、施設全体におけるトータルコスト(財政負担)の軽減・平準化を盛り込みながら、将来的な施設の在り方を踏まえて各施設の長寿命化を図るための改修等の優先順位を検討し、利用者が安全・安心かつ継続的に施設を利用できるようにすることを目的とします。

1. 2 人口動向と財政状況

1.2.1 人口動向

本市の総人口は、竜ケ崎ニュータウンの開発等により昭和 57 (1982) 年から増加してきましたが、平成 22 (2010) 年の 80,334 人をピークに減少傾向にあります。

平成 27 (2015) 年 12 月に策定した「龍ケ崎市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)」の市独自推計によると本市の総人口は、令和 12 (2030) 年には 69,107 人、令和 27 (2045) 年には 55,597 人となることが推計されており、平成 27 (2015) 年と令和 27 (2045) 年を比較すると約 22,745 人 (29.1%) の減少が見込まれています。



※出典

推計:国立社会保障•人口問題研究所(H30.3)、実績:各年国勢調査結果

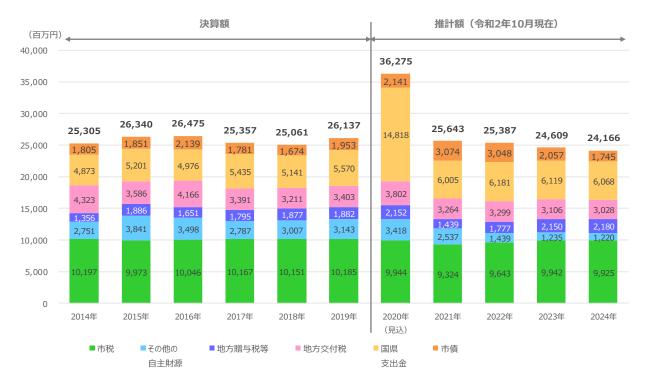
図 1-1 人口の推移

1.2.2 財政状況

(1)歳入の推移

本市の歳入の状況は、各年度決算において市税が全体の約 40%前後を占め、 その他自主財源と合わせ、毎年自主財源の割合が依存財源の割合を上回る財源 構成となっていますが、依然として地方交付税等国への依存度が高い状況です。

「龍ケ崎財政見通し(令和2年10月現在)」の令和2(2020)年度から令和6(2024)年度の財政収支見通しによると、市税収入は、新型コロナウイルスによる景気後退により、大幅な減収が見込まれています。また、地方交付税についても、人口、公債費等による一時的な増減があるものの、全体として減少が見込まれており、歳入全体で減少傾向にあると推計されています。



※百万円単位で四捨五入しており、項目の合計値と合計額が一致しない場合があります。

※出典

決算: 各年決算資料、推計: 龍ケ崎市財政収支見通し(令和2年10月現在)

図 1-2 歳入決算額の推移(普通会計)

[※]令和2(2020)年度見込は、特別定額給付金関連を含む新型コロナウイルス感染症対策補正が見込まれています。

(2) 歳出の推移

本市の歳出の状況は、義務的経費のうち扶助費が年々増加傾向にあり令和元(2019)年度は、平成26(2014)年度と比較して約10億円の増加(約14.9%増)となっています。また、平成26(2014)年度から令和元(2019)年度の投資的経費のうち普通建設事業費は、平均18億円となっています。

「龍ケ崎市財政収支見通し(令和2年10月現在)」の令和2(2020)年度から令和6(2024)年度の財政収支見通しによると、人件費は令和2(2020)年度以降、増加が見込まれており、高齢社会に伴う社会保障費や子育て支援の充実等による扶助費の増加も見込まれています。普通建設事業費の今後の見通しは、インフラの更新や大規模事業に伴う施設の建設費等による増加が見込まれます。



※百万円単位で四捨五入しており、項目の合計値と合計額が一致しない場合があります。

※令和 2 (2020) 年度見込は、特別定額給付金関連を含む新型コロナウイルス感染症対策補正が見込まれています。

※出典

決算: 各年決算資料、推計: 龍ケ崎市財政収支見通し(令和2年10月現在)

図 1-3 歳出決算額の推移(普通会計)

1. 3 計画の位置付けと計画期間

1.3.1 計画の位置付け

本計画は、国がインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するために平成25年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画」、及び本市の「公共施設等総合管理計画(2015~2051年度)」、「公共施設再編成の第2期行動計画(2017~2022年度)」に基づく、本市が所管するスポーツ施設を対象とした長寿命化計画(個別施設計画)です。

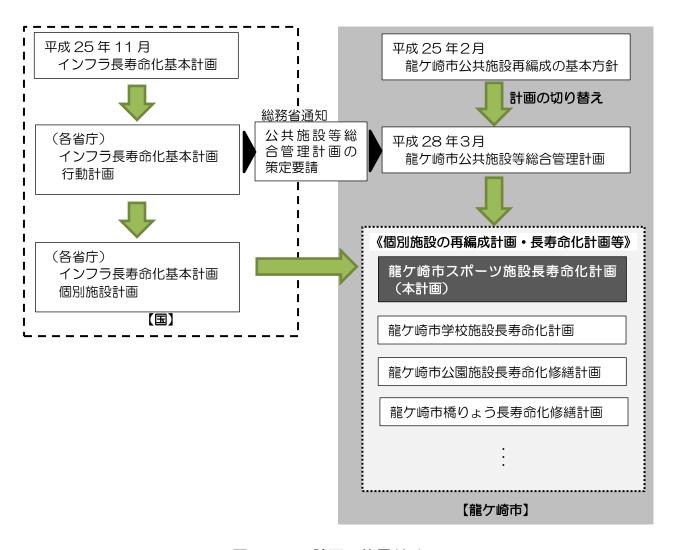


図 1-4 計画の位置付け

1.3.2 計画期間

【本計画の計画期間】

令和3(2021)年度から令和33(2051)年度まで

本計画の計画期間は、先に策定された「龍ケ崎市公共施設再編成の基本方針」を引き継いだ「龍ケ崎市公共施設等総合管理計画」の計画期間を踏まえ、計画終了時期の整合を図り令和3(2021)年度から令和33(2051)年度までの31年間とします。

公共施設等は耐用年数が数十年に及ぶこと、また、各個別施設の更新費用の推計との整合を図るため長期的な視点が必要不可欠なことから、31年間の長期間の計画となります。

ただし、本計画の上位計画である「龍ケ崎市公共施設等総合管理計画」がおおむね5年間ごとに見直されることへの整合性に加えて、社会経済情勢等の変化や国等の補助制度等の動向に弾力的に対応するため、適宜本計画を見直します。

1. 4 対象施設

本市が所有する公共施設のうち、スポーツ施設 14 施設(総合運動公園 3 施設、その他スポーツ施設 11 施設)を本計画の対象とします。ただし、同施設内に立地する屋外倉庫及び簡易な工作物等は、原則対象外とします。

表 1-1 対象施設一覧

区分	施設名	所在	コスト
総合運動公園	総合体育館「たつのこアリーナ」	龍ケ崎市中里3-2-1	0
	陸上競技場「たつのこフィールド」	龍ケ崎市中里2-1-7	0
	野球場「たつのこスタジアム」	龍ケ崎市松ケ丘2-16-1	0
屋内体育施設	高砂体育館	龍ケ崎市7053-1	0
屋外体育施設	高砂野球場	龍ケ崎市7053-1	
	小貝川市民運動公園	龍ケ崎市川原代町字関33-1	
	若柴公園	龍ケ崎市松葉6-1	
	城南スポーツ公園	龍ケ崎市大徳町1318	
	大正堀川運動公園	龍ケ崎市平台3-14	
	龍ヶ岡公園	龍ケ崎市中里3-1	
	工業団地運動公園	龍ケ崎市薄倉町字北野原2364-1	
	北竜台公園	龍ケ崎市小柴1-8-1	
	横田川運動公園	龍ケ崎市平台5-13	
	羽原川運動公園	龍ケ崎市久保台1-20-1	

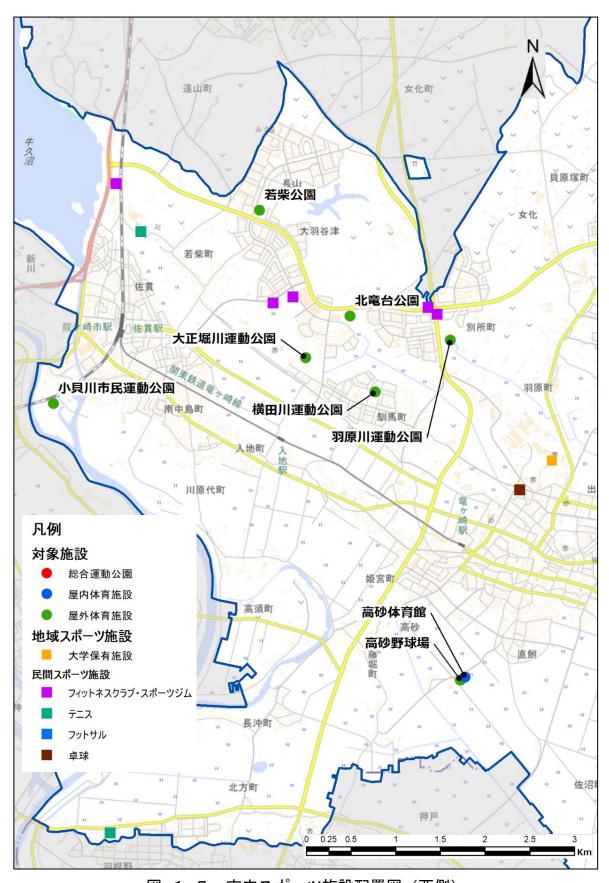


図 1-5 市内スポーツ施設配置図 (西側)

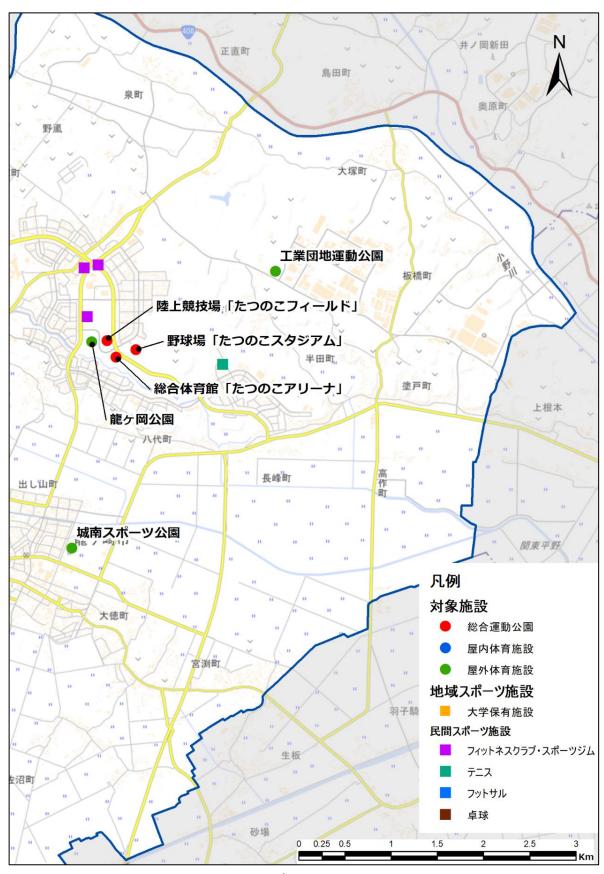


図 1-6 市内スポーツ施設配置図 (東側)

第2章 スポーツ施設におけるストック適正化に関す る現況評価

2. 1 基本情報の把握

2.1.1 基本情報

本計画の対象となるスポーツ施設の機能は表2-1のとおりです。

表 2-1 対象施設の機能一覧

			_	-	1001						_													
					屋	内於	設										屋线	外放	設					
区分	施設名	所在地	体育館(アリーナ含む)	レーニング	(柔道場・剣道場含む)	弓道場	卓球場	多目的室	会議室	プール	野球場	ソフトボール場	サッカー場	テニスコート		多目的広場(グラウンド)	ゲートボール	ディスクゴルフ	グランドゴルフ場	ットバード	7	フットサルコート	芝生広場	プール
40 A MET	総合体育館「たつのこアリーナ」	龍ケ崎市中里3-2-1	•	•	•			•		•														•
総合運動公園	陸上競技場「たつのこフィールド」	龍ケ崎市中里2-1-7													•									7
	野球場「たつのこスタジアム」	龍ケ崎市松ケ丘2-16-1									•					•								
屋内体育 施設	高砂体育館	龍ケ崎市7053-1	•																					
	高砂野球場	龍ケ崎市7053-1									•													
	小貝川市民運動公園	龍ケ崎市川原代町字関33-1									•					•								
	若柴公園	龍ケ崎市松葉6-1												•										I
	城南スポーツ公園	龍ケ崎市大徳町1318												•										T
屋外体育	大正堀川運動公園	龍ケ崎市平台3-14									•			•		•								\exists
施設	龍ヶ岡公園	龍ケ崎市中里3-1												•								•		
	工業団地運動公園	龍ケ崎市薄倉町字北野原2364-1									•						•							
	北竜台公園	龍ケ崎市小柴1-8-1									•							•						
	横田川運動公園	龍ケ崎市平台5-13											•											
	羽原川運動公園	龍ケ崎市久保台1-20-1														•								

対象施設の基本情報は表2-2のとおりです。

表 2-2 対象施設の基本情報

	施設忙	 青報							構造・	耐震'	性
管				設	地	地				耐	而寸
理	11 == 1 =1			置	上	下	敷地面積	延床面積	Late v or	震	震
番	施設名称	<u>r</u>	施設種別	年	階	階	(m²)	(m²)	構造	診	改
号				度		数	()	()		断	修
				~	~~	~~				71	
1-1	総合体育館	1階	体育館	2002	2	1	17,369.11	10,576.11	SRC、一部S	不要	不要
1-2	「たつのこアリー	2階	武道館	2002	2	1			SRC、一部S	不要	不要
1-3	ナー	地階	温水プール	2002	2	1			SRC、一部S	不要	不要
1-4		屋外プール	プール	2002	-	-				不要	不要
2-1	陸上競技場	スタンド		2005	2	-	37,000.00	1,635.80	RC	不要	不要
2-2	「たつのこフィー	フィールド	フィールド	2005	1	-		-	ı	ı	-
2-3	ルド」	北側公衆便所		2005	1	-			RC	不要	不要
2-4		南側公衆便所		2005	1	-			RC	不要	不要
2-5		倉庫(2棟)		2007	1	-				不要	不要
2-6		照明塔		2016	1	-			S	不要	不要
2-7		バックスタンド		2015	1	-		355.40	S	不要	不要
2-8		バックスタン		2017	1	-		30.61	RC	不要	不要
3-1	野球場	ド側トイレ スタンド		2008	2	_	63,917.00	854.83	RC	不要	不要
3-2	「たつのこスタジ	スコアボード		2009	5	_	00,017.00	00 1.00	S	不要	
3-3	アム」	照明塔		2009	1	_			S	不要	_
3-4) A]	屋外便所		2010	1	_			RC	不要	-
3-5		スタジアム	野球場	2008	-	_		-	-	-	-
3-6		多目的広場		2010	-	-			-	-	-
4-1	高砂体育館	I	体育館	1983	2	-	2,930.44	878.03	S	実施済	実施済
5-1	高砂野球場		グラウンド	1984	-	-	5,862.00	-	-	-	-
6-1	小貝川市民運動公園		グラウンド	1992	-	-	52,800.00	-	-	-	-
7-1	若柴公園		庭球場	1996	-	-	2,340.00	-	-	-	-
8-1	城南スポーツ公園		庭球場	1996	-	-	1,970.00	-	-	-	-
9-1	大正掘川運動公園		庭球場	1999	-	-	21,997.00	-	-	-	-
9-2			グラウンド	1999	1	1			ı	1	-
10-1	龍ヶ岡公園		庭球場	1999	1	-	6,240.00	-	ı	ı	-
	工業団地運動公園		グラウンド	1989	-	-	20,260.00	-	-	-	
	北竜台公園		グラウンド	1992	-	-	8,300.00	-	-	-	_
12-2			ディスクゴルフ	1992	-	-			-	-	-
	横田川運動公園		グラウンド	1996	-	-	6,149.00	-	-	-	-
14-1	羽原川運動公園	_	グラウンド	1997	-	-	7,980.00	-	-	-	-

対象施設の工事履歴は表2-3、表2-4のとおりです。

表2-3 対象施設の工事履歴(1)

	施	設情報			工事履歴	
管						
理	+/ - = n. <i>F</i>	7 1 <i>h</i> -	+ /		工事屈莊	工事費用
番	施設名	台	施設種別		工事履歴	(円)
号						
1-1	総合体育館	1階	体育館	2011	機械)空調等中央監視装置改修	7,539,000
	「たつのこア			2013	建築)総合体育館メイン・サブアリーナ床面改修	9,765,000
	リーナー			2013	電気)ロビー照明等改修	2,688,000
	, , ,			2013	機械)消防設備修繕	3,533,250
				2014	電気)火災報知機交換	108,000
				2014	設備)空冷式ヒートポンプチラー改修	3,888,000
				2014	設備) 真空式温水ヒーター改修	9,612,000
				2014	設備)消防設備不備改修	315,738
1 2		つでは	计 革命	2015	機械)製氷蓄熱式空調機改修	5,464,800
1-2		2階	武道館	2015	機械)空気調和設備改修	8,573,200
				2016	機械)吸収式冷温水機修繕	2,473,200
				2017	建築)吊り天井改修	29,959,200
				2017	電気)空調設備改修	14,796,000
				2017	電気)ポンプユニット(上水・温水)制御盤交換	3,024,000
				2018	建築)屋上防水	18,619,200
				2018	電気)風除室改修	4,579,200
				2018	機械)LED化	55,944,000
1-3		地階	温水プール	2012	機械)プール雑排水槽等水中ポンプ交換	771,750
				2012	機械)ろ過設備等改修	9,975,000
				2016	機械)プール室温調整外調機交換	7,009,200
				2017	機械)プール設備改修	3,445,200
				2017	機械)流水プール起流ポンプ交換	3,834,000
				2018	機械)プール全熱交換器整備およびオゾン浄化装置更新	17,874,000
1-4		屋外プール	プール	2007	機械)ウォータースライダーフリューム取替	1,470,000
				2008	建築)たつのこアリーナ屋外プールサイド塗装	3,507,000
				2017	機械)流水プール起流ポンプ交換	3,834,000
2-1	陸上競技場	スタンド		2015	その他)フィールドバックスタンド等改修	83,667,600
2-2	「たつのこ	フィールド	フィールド	2011	建築)公認継続改修	2,992,500
	フィールド」			2016	建築)第3種公認陸上競技場継続改修	43,200,000
				2016	建築)フィールド照明塔建設	285,120,00
2-3		北側公衆便所				
2-4		南側公衆便所				
2-5		倉庫 (2棟)				
2-6		照明塔				
2-7		バックスタンド				
2-8		バックスタン				
		ド側トイレ				
-	•			•		

表2-4 対象施設の工事履歴(2)

	施	設情報			工事履歴	
管理番号	施設名	公 称	施設種別		工事履歴	工事費用 (円)
3-1	野球場 「たつのこス	スタンド			電気)判定表示灯改修 建築)メインスタンド防水改修	6,220,800 2,019,600
3-2	タジアム」	スコアボード				
3-3		照明塔				
3-4		屋外便所				
3-5		スタジアム	野球場	2016	建築)内野グラウンド改修	23,004,000
				2017	その他)グラウンド改修	21,168,000
3-6		多目的広場	グラウンド			
4-1	高砂体育館		体育館	1997	建築)外壁等改修	-
				2012	建築)高砂体育館改修	46,231,500
				2014	電気)体育館受電盤交換	270,000
				2014	設備)浄化槽放水ポンプ交換	243,000
				2015	建築)幕板仮復旧	1,706,400
				2016	建築)屋根等改修	18,132,000
				2018	電気)LED化	3,618,000
5-1	高砂野球場		グラウンド			
6-1	小貝川市民運動	加公園	グラウンド			
7-1	若柴公園		テニスコート	2012	テニスコート改修	30,870,000
8-1	城南スポーツな] 園	テニスコート	2017	テニスコート改修	30,240.000
9-1	大正掘川運動化	園	テニスコート			
9-2			グラウンド			
10-1	龍ヶ岡公園		テニスコート	2017	テニスコート2面(G,Hコート)改修	19,440,000
				2019	テニスコート6面(A~Fコート)	89,320,000
					改修(人工芝、照明新設)	
11-1	工業団地運動な] 園	グラウンド			
12-1	北竜台公園		グラウンド			
12-2			ディスクゴルフ			
13-1	横田川運動公園	2	グラウンド			
14-1	羽原川運動公園		グラウンド			

龍ケ崎市地域防災計画で定められた防災対策拠点、指定緊急避難所、指定避難所、ヘリコプター離着陸場候補地は表2-5のとおりです。

防災対策拠点や避難所に定められた施設は、災害時に防災機能が使えるように、平時から建物の安全性や健全性を確保しておく必要があります。そのために、老朽化等対策についても他の施設よりも優先的に取り組む必要があります。また、ストック適正化を考える際にも、スポーツ施設としての需要だけでなく、例えば、避難者の収容者数といった防災機能にも配慮する必要があります。

表 2-5 地域防災計画で定められた防災機能

			地域防	災計画			リルエンザ等 ニュアル
区分	施設名	防災対策拠点 (災害時に使用する 主な目的)	指定 緊急 避難所	指定 避難所 (収容人数)	ヘリコプター 離着陸場 候補地 (大型ヘリ/小型ヘリ)	対策本部 の設置 場所	パンデミック ワクチン 接種場所
	総合体育館 「たつのこアリーナ」	(指定避難所、災害復 旧支援者宿舎、災害対 策本部代替施設)		〇 (1,036 人)		○ (第1代 替場所)	0
総合運動公園	陸上競技場 「たつのこフィールド」	○ (竜ヶ崎警察署 代替施設)			〇(大型ヘリ)		
	野球場 「たつのこスタジアム」				〇(大型ヘリ)		
屋内体育施設	高砂体育館						
	高砂野球場				〇 (小型ヘリ)		
	小貝川市民運動公園		0		〇 (大型ヘリ)		
	若柴公園		0				
	城南スポーツ公園		0		○ (小型へリ)		
屋外体育	大正堀川運動公園						
施設	龍ヶ岡公園		0				
	工業団地運動公園		0		〇 (大型ヘリ)		
	北竜台公園		0		〇(大型ヘリ)		
	横田川運動公園				〇 (小型ヘリ)		
	羽原川運動公園						

2.1.2 地域スポーツ施設の情報

関連情報として学校体育施設、都市公園等の運動施設、近隣自治体スポーツ施設、大学保有施設、民間スポーツ施設等の機能と基本情報は表2-6、表2-7のとおりです。なお、近隣自治体は牛久市、利根町、取手市、稲敷市の4市町であるが、このうち、牛久市と利根町については公の施設相互利用に関する協定を締結しています。

表2-6 本計画対象外の地域スポーツ施設の機能一覧

						屋卢	施	Q										屋	外加	臤							
区分	施設名	所在地	体育館(アリーナ合む)	トレーニング室	(柔道場・剣道場合む)	弓道場	卓球場	多目的室	会議室	プール	フィットネスクラブ	野球場	ソフトポール場	サッカー場	テニスコート	陸上競技場	多目的広場(グラウンド)	ゲートボール	ディスクゴルフ	グランドゴルフ場	ターゲットバードゴルフ	パターゴルフ場	コル	フットサルコート	芝生広場	プール	備考
	龍ケ崎小学校	龍ケ崎市3316	•																		L					•	
L	馴柴小学校	龍ケ崎市若柴3135	•																						<u> </u>	•	
L L	八原小学校	能ケ崎市藤ケ丘1-22-4	•																						<u> </u>	•	
L	大宮小学校	龍ケ崎市大徳町4945	•																						<u> </u>	•	
	川原代小学校	龍ケ崎市川原代町3518	•			<u> </u>														<u> </u>	L	L	1		<u> </u>	•	
L	龍ケ崎西小学校	龍ケ崎市8810	•			<u> </u>														<u> </u>	L	L	1		<u> </u>	•	
L L	松葉小学校	龍ケ崎市松葉2-9	•																							•	
Į:	長山小学校	龍ケ崎市長山5-7-1	•																							•	
Į	馴馬台小学校	龍ケ崎市平台4-23-1	•									Ĺ		Ĺ	Ĺ					L	Ĺ		L	Ĺ		•	
学 ***	久保台小学校	龍ケ崎市久保台2-3	•																							•	
学校体育 施設	城ノ内小学校	龍ケ崎市城ノ内5-27	•																							•	
加出成	愛宕中学校	龍ケ崎市3777	•		•	•																				•	
7	城南中学校	龍ケ崎市1736	•		•		•																			•	
Ī	長山中学校	龍ケ崎市長山3-1	•		•																					•	
ļ	城西中学校	龍ケ崎市川原代町710	•		•	•																				•	
Ī	中根台中学校	龍ケ崎市中根台1-12	•		•																				T	•	
Ī	城ノ内中学校	龍ケ崎市城ノ内5-3	•		•	•	•															T			T	•	
	竜ヶ崎第一高等学校	龍ケ崎市平畑248	•		•							•		•	•	•						T			T		
	竜ヶ崎第二高等学校	龍ケ崎市古城3087	•			•									•	•					1	T			t		
	竜ヶ崎南高等学校	龍ケ崎市北方町120	•	•		l									•		•				1	T			t	•	
<u> </u>	愛国学園大学附属龍ケ崎高等学校	龍ケ崎市若柴町2747	•			•									Ė		Ė			1		H	1		╁	Ė	
大学保有	流通経済大学龍ケ崎キャンパス	龍ケ崎市120	•	•	•	•				•		•		•	•	•	•										ラグビー場あり
	スポーツクラブ ルネサンス 竜ヶ崎ニュータウン	龍ケ崎市小柴5-2-2								•	•											T			T		
-		龍ケ崎市中里2-1-2									•										Ħ	l	T	T	t		
i i	ワールドプラスジム龍ケ崎店	龍ケ崎市久保台1-1-33									•								T	H	t	t	t	T	t		
H	エニタイムフィットネス 龍ケ崎店	龍ケ崎市藤ケ丘1-1-1 1F									•								T	Ħ	t	t	t	T	t		
i i	カーブス 龍ケ崎	龍ケ崎市中根台3-10-1							П		•									l	T	Ħ	T	T	t		
	女性専用フィットネス クイック フィットBM30龍ケ崎店	龍ケ崎市松ケ丘1-1									•																
	サウンドボウル牛久店	能ケ崎市庄兵衛新田町282									•													Ī	1		
Ţ	タップスポーツ 龍ケ崎倶楽部	龍ケ崎市小柴5-3								•	•													Ī	1		
1	龍ケ崎テニスの村	龍ケ崎市若柴町869-7													•						t	l	T	T	t		
	COCO STUDIO	龍ケ崎市馴馬町2956-1					•																				
[:	エターナルトップ テニススクール	龍ヶ崎市白羽4-2-6													•												
-	テニスクラブマギーノ	龍ケ崎市羽黒町219													•						Ī						
るの金を	旧北文間小学校	龍ケ崎市長沖町1490	•			t													П			Т	T	Г	T		R3.4.1 開設予定

表 2-7 近隣自治体施設の機能一覧

		14.2 /	_	_ 1-7	ヸ ロ 層	内族						17.50	, , , ,	_	_	己		로서	施言	0							
					重	PI II	出版									-		±71	加多品	X.							
区分	施設名	所在地	体育館(アリーナ含む)	トレーニング室	(柔道場・剣道場合む)	弓道場	卓球場	多目的室	会議室	プール	野球場	ソフトボール場	サッカー場	テニスコート	陸上競技場	多目的広場(グラウンド)	ゲートボール	ディスクゴルフ	グランドゴルフ場	ターゲットバードゴルフ	パターゴルフ場	ゴルフ練習場	フットサルコート	芝生広場	プール	競輪場	備考
	牛久運動広場	牛久市城中町1865				•								•		•											
1	あしび野多目的広場	牛久市島田町2695-2												•		•											
牛久市 5施設	栄町運動広場	牛久市栄町4-196														•											
1	牛久運動公園	牛久市下根町1400	•	•	•		•			•	•			•		•											
	女化運動広場	牛久市さくら台4-36-1														•											
	利根緑地運動公園	北相馬郡利根町布川4955									•			•		•						•					
利根町 3施設	上曽根運動公園	北相馬郡利根町布川427-2						П	П					•													
l l	四季の丘第2公園	北相馬郡利根町四季の丘1-14-7							П					•													
	取手グリーンスポーツセンター	取手市野々井1299	•	•	•	•			П	•															•		
	高須体育館・グラウンド	取手市高須2151	•													•											
	取手競輪場	取手市白山6-2-8							П																	•	
	取手緑地運動公園	取手市東1丁目							П		•	•	•	•		•			•								
	桜が丘テニスコート	取手市桜が丘2丁目							П					•													
	利根川サイクルステーション	取手市取手1丁目																									レンタサイクル
	向原公園	取手市西1-22												•	T							T					
	光風台テニスコート	取手市光風台3丁目							П					•	T							T					
	北浦川緑地	取手市中田											•			•											
取手市	花輪スポーツ公園	取手市戸頭1638-1							П					•													
20+5=7	水と緑と祭りの広場	取手市藤代							П							•											屋外ステージ
	とがしら公園	取手市戸頭8丁目									•			•													
	藤代武道場	取手市藤代430-5	•			•																					
	小貝川緑地	取手市中内													T	•						T					
	新川グランド	取手市新川地先							П							•											
	取手ウェルネスパーク	取手市新町2-5-25		•				•	•						T							T					貸ホール
	勤労青少年体育センター	取手市寺田5139	•				П	П	П		П				T							T					
	藤代スポーツセンター	取手市椚木15	•					П	П		•			•		•											
		取手市宮和田地先						П	П							•											
	久賀テニスコート	取手市萱場967-2							П					•													
	江戸崎総合運動公園	稲敷市荒沼3-1	•	•			•		•		•			•		•											
	沼田運動公園	稲敷市沼田1106-1						П	П		•																
	新利根総合運動公園	稲敷市伊佐津3170 稲敷市伊佐津3280	•					П	•		•			•		•	•										
稲敷市		稲敷市柏木4-5	•					П	П		•			•		•											
8施設	浮島運動広場	稲敷市浮島5020-2						П	П		П					•											
	東農業者トレーニングセンター	稲敷市佐原組新田1595-4	•					П																			
	東グラウンド	稲敷市佐原組新田1593-2							П							•											
			_	•																							

2. 2 ストック適正化に関する現況評価

個々のスポーツ施設について、安心・安全・快適な利用と将来的な財政負担の観点から施設の現況評価を行いました。現況評価のフローは以下のとおりです。

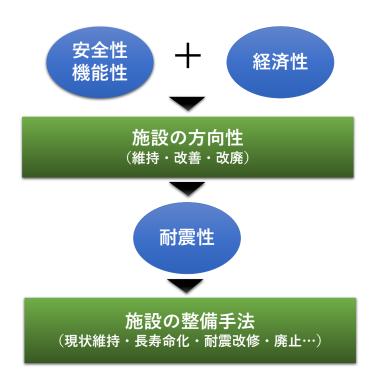


図 2-1 個別施設の方向性の検討

2.2.1 評価項目

「安全性・機能性」「耐震性」「経済性」の3つの観点から評価項目を定めました。

(1) 安全性・機能性に関する評価項目

「安全性・機能性」についての評価の考え方と評価項目を、表2-8に整理しました。

表 2-8 「安全性・機能性」に関する評価項目

		・ (機能性」 に関りる評価項目
項目	評価の考え方	評価項目
安全性	劣化状況が利用者や 第三者の安全に与え る影響を評価	 竣工年からの経過年数 躯体の劣化状況(剝離,ひび割れ等の損傷) 屋根及び外壁等からの漏水の有無 屋根の劣化状況(勾配屋根材,防水材の劣化) 外壁材の劣化状況(剝離,落下の危険性の有無)
機能性	施設機能(性能)を維持するために必要となる空間性能、室内環境性能等の劣化や運用に関連する問題及びバリアフリー対策、省エネルギー対策、災害対策等の状況を評価	 内装の劣化状況(天井,壁,床,建具等) 室内環境(空調,衛生,音,光)の状況 附帯設備(トイレ,シャワー,更衣室等)の整備状況 設備機器,配管等の劣化状況 運用に関する問題(設備の管理,運転等) バリアフリー対応の状況 省エネルギー対策の状況 災害対策の状況(避難スペース,備蓄,防災設備,トイレ,シャワー,更衣室等)
法令への適合状況	建築基準法、消防法等 に係る法定点検結果 から是正報告の有無 及び是正実施の有無 を評価	 建築基準法:定期点検報告等 建築設備の定期調査報告 昇降機等の定期調査報告 消防法:消防用設備等点検の報告等 電気事業法:自家用電気工作物の定期点検
屋外スポーツ施設の状況	各施設の健全度を評 価	 舗装の健全度(クレイ系,芝生,人工芝等) 附帯施設の健全度(フェンス,スコアボード,ダグアウト,観覧席,外周壁等) 附帯設備の健全度(照明,散水,排水等の設備)

スポーツ	スポーツの場を安全	•	屋内スポーツフロアの状況(すべり転
施設の安	な状態で提供してい		倒,床板割れ,床金物の緩み等)
全対策	くため、スポーツ施設	•	屋外スポーツコートの状況(平たん性
	に係る事故事例等を		の維持)
	参考としながら、必要	•	AED 等の設置状況
	となる安全対策の実	•	落下防止対策の状況(吊り下げ壁面固
	施状況を評価		定バスケットゴール等)
		•	移動防止対策の状況(サッカーゴール
			等)
		•	安全管理マニュアルの整備及び周知
			徹底
		•	教育及び訓練の実施状況

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.22-23

(2)経済性に関する評価項目

「経済性」についての評価の考え方と評価項目を、表2-9に整理しました。

表 2-9 「経済性」に関する評価項目

項目	評価の考え方	評価項目
更新•修繕費	費用対効果の 費用に対応	● 今後の改修や建替えに係るコスト
収入	費用対効果の 効果に対応	● スポーツ施設の使用料,または利用者数

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.24

(3) 耐震性に関する評価項目

「耐震性」についての評価の考え方と評価項目を、表2-10に整理しました。

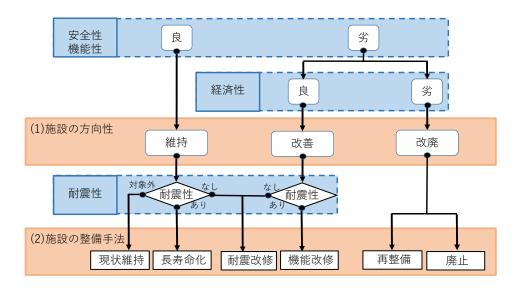
表2-10 「耐震性」に関する評価項目

項目		評価項目				
適合する耐震基準	•	1981年(昭和56年)以前の耐震基準(旧耐震基準)				
耐震診断	•	診断実施の有無,耐震改修の必要性の有無				
耐震改修	•	耐震改修の実施の有無				

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.25

2.2.2 評価方法

収集した情報をもとに施設の現状を評価し、その評価結果をもとに個々のスポーツ施設の「方向性」及び「整備手法」を検討しました。



参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.26

図 2-2 個別施設の方向性の検討

(1) 施設の方向性

①「安全性・機能性」の評価

- ◆ 個々の施設に対し劣化状況の調査(現地調査)を実施し、健全度状況について「A・B・C・D」の4段階評価を行いました。
- ◆ 劣化状況の調査を基に「基礎情報」において、項目分類された「安全性」 「機能性」「法令への適合状況」「屋外スポーツ施設の状況」「スポーツ施 設の安全対策」ごとに「A・B・C・D」の4段階評価を行いました。
- ◆ 上記の「劣化状況の調査」及び「項目ごとの評価」をもとに、「安全性・機 能性」について「良」又は「劣」の評価を行いました。

表 2-11 劣化状況の調査(現地調査)による健全度状況の評価基準

	個別項目評価基準(現地調査による健全度状況)	評価
•	全体的に健全である。	^
•	緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理する	А
	もの	
•	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。	D
•	緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、	В
	劣化部分について定期的な観察が必要なもの	
•	全体的に劣化が進行している。	
•	現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるた	C
	めには部分的な補修又は更新が必要なもの	
•	全体的に顕著な劣化である。	
•	重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止又	D
	は緊急な補修若しくは更新が必要とされるもの	

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成 30 年 3 月)p.27

表2-12 「安全性・機能性」の評価の考え方

	評価基準	評価
•	全体的に劣化、不具合等の事象が確認されない。	
•	部分的な劣化、不具合等の事象が確認されるが、緊急性が	
	低い(日常的な保守管理及び経過観察により対応)。	良
•	法定点検での是正報告がない、又は是正事項が既に改善さ	
	れている(改善予定も含む。)。	
•	スポーツ施設の安全対策がなされている。	
•	全体的な劣化、不具合等、又は著しい劣化、不具合等の事象	
	が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。	
•	劣化、不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限	
	又は緊急に補修若しくは改修が必要である。	劣
•	法定点検での是正報告があり、是正が長期間放置されてい	
	る、又は重大な事故、施設の利用制限が想定される。	
•	重大な事故の恐れがある安全に関する対策が実施されてい	
	ない。	

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.27

②「経済性」の評価

- ◆ 「安全性・機能性」の評価において「劣」と評価された施設について評価を行うこととしていますが、参考として「良」とされた施設についても評価を行いました。
- ◆ 「更新・修繕費用」については、公共施設更新費用試算ソフト(総務省)を用いて試算し評価を行いました。なお、評価を行えない建物及び屋外スポーツ施設については、現況評価、竣工年により評価を行いました。
- ◆ 収入については、利用者数及び使用料について整理を行い、推移の考察により評価を行いました。上記の「更新・修繕費用の評価」及び「収入の評価」をもとに、「経済性」について、「良」又は「劣」の評価を行いました。

表 2-13 「更新・修繕費用」の評価基準

	評価基準(公共施設更新費用試算ソフトによる評価)	評価基準
•	10年以上大規模改修が必要とならない施設	А
•	10 年以内に大規模改修が必要となる施設	В
•	築 31 年以上で 10 年以内に大規模改修が必要となる施設	С
•	10年以内に建替えが必要となる施設	D

表 2-14 「収入」の評価基準

	評価基準(利用者数、使用料の推移)	評価基準
•	年々増加傾向にあり、今後も増加の傾向がみられる。	Α
•	年により減少傾向もみられるが、最近は増加の傾向がみられる。	В
•	年によりばらつきはあるが、並行した推移がみられる。	
•	年により増加傾向もみられるが、最近は下降の傾向がみられる。	С
•	年々減少傾向にあり、今後も下降の傾向がみられる。	D

表 2-15 「経済性」の評価の考え方

	評価基準	評価
•	更新・修繕費用の発生が標準よりも少ない。	
	収入が多く、今後も施設利用が見込める。	—
	更新・修繕費用が多く、収入も少ない施設であるが、維持管	良
	理や収入の運用面での見直しの可能性がある。	
•	更新・修繕費用が多く、収入も標準よりも少ない施設で、維	
	持管理や収入の運用面での見直しの可能性がない。	劣
•	相対的に、又は目標値に対して、著しく状況が悪い。	- 3

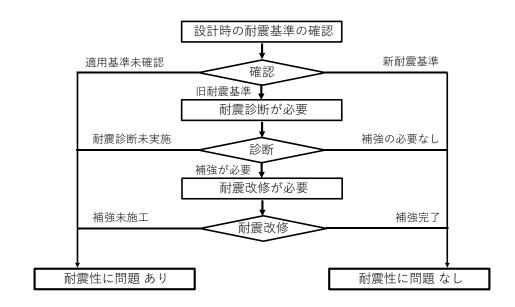
参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.28

(2) 施設の整備手法

施設の方向性が「維持」又は「改善」となった施設(建築物)は、「耐震性」の評価を行い、整備手法について検討を行いました。

①「耐震性」の評価

- ◆ 収集した基本情報をもとに、評価を行いました。
- ◆ 耐震診断を実施している建築物のうち、「耐震改修の必要性がない」と診断された建築物は、「耐震性に問題なし」と評価しました。
- ◆ 耐震診断を実施している建築物のうち、「耐震改修の必要性があり」と診 断され、耐震改修が未実施の場合「耐震性に問題あり」と評価しました。
- ◆ 旧耐震基準(1981年(昭和56年)以前)で設計された建物は耐震診断の実施が必要であるため、その実施の有無及び耐震診断結果を確認しました。



参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.27

図 2-3 「耐震性」評価のフローチャート

②施設の整備手法

- ◆ 施設の方向性が「維持」となった施設は、「耐震性」の評価を実施し、耐震性に問題がある場合は「耐震改修」を実施します。耐震性に問題がない場合は、長寿命化を図りながら計画的に保全を実施し、施設を適切に維持します。
- ◆ 施設の方向性が「改善」となった施設は、「耐震性」の評価を実施し、耐震性に問題がある場合は「耐震改修」を実施します。耐震性に問題がない場

- 合は、「機能改修」を実施します。なお、「耐震改修」と合わせて「機能改修」を実施することが効率的である場合は、同時に実施します。
- ◆ 屋外施設等の建築物として取り扱われない施設は、「耐震化」の評価は実施しません。施設の方向性で「維持」となった施設の整備手法は「現状維持」、「改善」となった施設の整備手法は「機能改修」とします。

表 2-16 施設の方向性及び整備手法の概要

方向性	整備手法	内容		
維持	現状維持	施設の機能を維持しながら、長期的に使用し続ける。		
	長寿命化	計画的に改修等の保全を行い、現在の施設をより長 く使用する。		
改善	機能改修	経年劣化への対応を目的に改修する。		
	耐震改修	地震に対する安全性向上を目的に改修する。		
改廃	再整備 (改築)	現状の施設を解体し、現地又は別の敷地に新たに施 設を整備する。		
	廃止	施設を解体する。		

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成30年3月)p.30

2.2.3 評価結果

(1)安全性・機能性

個々のスポーツ施設に対する安全性・機能性の評価結果は表2-17のとおりです。安全性と機能性、屋外スポーツ施設については、現地調査の結果を踏まえ評価を実施しました。

表 2-17 安全性・機能性の評価結果

			安全性・			評価項目		
区分	施設名	施設種別	機能性評価	安全性	機能性	法令 適合性	屋外スポーツ施設	安全対策
総合運動公園	総合体育館「たつのこアリーナ」	1階	良	В	В	Α	-	Α
		2階	良	В	В	Α	-	Α
		地階	良	Α	В	Α	-	Α
		屋外プール	良	Α	В	Α	-	Α
	陸上競技場「たつのこフィールド」	スタンド	良	Α	Α	Α	-	Α
		フィールド	良	Α	-	-	Α	Α
		北便所	良	Α	Α	Α	-	Α
		南便所	良	А	Α	А	-	А
		倉庫	良	Α	Α	Α	-	Α
		照明塔	良	Α	Α	Α	-	Α
		バックスタンド	良	Α	Α	Α	-	Α
		北新便所	良	Α	Α	Α	-	Α
	野球場「たつのこスタジアム」	スタンド	良	В	Α	Α	-	Α
		スコアボード	良	Α	Α	Α	-	Α
		照明塔	良	В	Α	Α	-	Α
		便所	良	Α	Α	Α	-	Α
		野球場	良	Α	-	Α	Α	Α
		多目的広場	良	Α	-	В	В	Α
屋内体育施設	高砂体育館	体育館	良	В	В	Α	-	Α
屋外体育施設	高砂野球場	グラウンド	良	С	-	Α	В	Α
	小貝川市民運動公園	グラウンド	良	В	-	Α	В	Α
	若柴公園	テニスコート	良	В	-	Α	В	Α
	城南スポーツ公園	テニスコート	良	В	-	Α	В	Α
	大正堀川運動公園	テニスコート	良	В	-	Α	В	В
		グラウンド	良	Α	-	Α	В	В
	龍ヶ岡公園	テニスコート	良	В	-	Α	А	Α
	工業団地運動公園	グラウンド	良	С	-	Α	В	Α
	北竜台公園	グラウンド	良	В	-	Α	В	Α
		ディスクゴルフ	良	В	-	Α	В	Α
	横田川運動公園	グラウンド	良	Α	-	Α	Α	В
	羽原川運動公園	グラウンド	良	Α	-	Α	В	В

(2)経済性

個々のスポーツ施設に対する経済性の評価結果は

表2-18のとおりです。更新修繕費用については、全ての建築物について、 直近 10 年間で大規模改修の目安である築 30 年を迎える施設はないことから A 評価となります。

表 2-18 経済性の評価結果

				評価	項目	
区分	施設名	施設種別	評価	更新·修繕費	収入 (収入がない施設につい ては利用人数で判断)	
総合運動公園	総合体育館「たつのこアリーナ」	メインアリーナ	良	Α		
		サブアリーナ	良	Α		
		トレーニング室	良	Α		
		多目的室	良	Α	В	
		柔道場	良	Α		
		剣道場	良	А		
		プール(屋内・屋外)	良	А		
	陸上競技場「たつのこフィールド」	陸上競技場	良	А	В	
	野球場「たつのこスタジアム」	野球場	良	Α	В	
屋内体育施設	高砂体育館	体育館	良	Α	В	
屋外体育施設	高砂野球場	野球場	良	-	В	
	小貝川市民運動公園	多目的広場	良	-	В	
		野球場	良	-	В	
	若柴公園	テニスコート	良	-	В	
	城南スポーツ公園	テニスコート	良	-	В	
	大正堀川運動公園	テニスコート	良	-	С	
		野球場	良	-	С	
		多目的広場	良	-	С	
	龍ヶ岡公園	テニスコート	良	-	В	
	工業団地運動公園	野球場A	良	-	В	
		野球場B	良	-	В	
		ゲートボール	-	-	-	
	北竜台公園	野球場	良	-	В	
		ディスクゴルフ	-	-	-	
	横田川運動公園	サッカー場	良	-	С	
	羽原川運動公園	多目的広場	良	-	С	

利用料金については、本市では2014年より指定管理制度を導入し、施設の包括管理を委託しています。全体の自主事業を含めた収入は指定管理者制度導入前に比べ、導入後の方が増加しています(図 2-4参照)。

料金を徴収する個別施設(たつのこアリーナ・フィールド・スタジアム、高砂体育館、テニスコート)については、施設改修工事等の要因により年度によっては一時的に減少することもありますが、概ね増加傾向にあると言えます。(図2-5~図2-7参照)

料金を徴収していない屋外施設については、利用者数のみで評価しておりま

すが、減少傾向にある施設も見受けられます。(参照資料編 P.35~46)

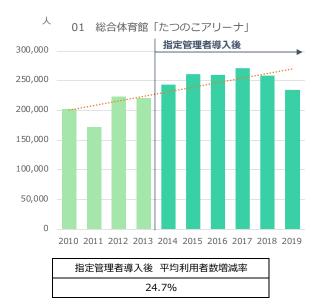


単位:千円

利用料金収入の増減率	平均額
直営時代2カ年平均	55,018
指定管理者導入後6カ年平均	58,626
増減率	6.6%

図 2-4 指定管理者制度導入前後における施設全体の料金収入の推移

	01 総合体育館「たつのこアリーナ」					
	年度	利用者数(人)				
	2010	201,896				
直	2011	171,874				
営	2012	222,805				
	2013	221,128				
指	2014	243,836				
定	2015	261,603				
管理	2016	260,324				
者	2017	270,733				
導	2018	257,935				
入	2019	234,552				
直記	営4カ年平均(人)	204,426				
導入	後6カ年平均(人)	254,831				



※2019 年度はコロナウイルス感染症の影響により利用者数が減となっています。

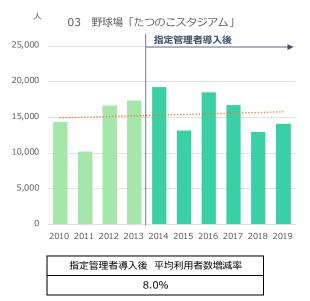
図 2-5 指定管理者制度導入前後における利用者数の推移(1)

	02 陸上競技場「たつのこフィールド」					
	年度	利用者数(人)				
	2010	23,941				
直	2011	40,278				
営	2012	48,054				
	2013	42,377				
指	2014	53,167				
定	2015	58,294				
管理	2016	29,154				
者	2017	42,295				
導	2018	52,167				
入	2019	43,747				
直泊	営4カ年平均(人)	38,663				
導入	後6カ年平均(人)	46,471				



※2016 年度は照明塔建設工事による利用制限により、2019 年度はコロナウイルス感染症の 影響により利用者数が減となっています。

03 野球場「たつのこスタジアム」						
	年度	利用者数(人)				
直営	2010	14,263				
	2011	10,265				
	2012	16,563				
	2013	17,376				
指	2014	19,241				
定	2015	13,182				
管理	2016	18,496				
者	2017	16,703				
導	2018	12,931				
入	2019	14,129				
直泊	営4カ年平均(人)	14,617				
導入後6カ年平均(人)		15,780				



※2015、2018 年度はグラウンド整備工事による利用制限により、2019 年度はコロナウイルス感染症の影響により利用者数が減となっています。

図 2-6 指定管理者制度導入前後における利用者数の推移(2)

04 高砂体育館						
	年度	利用者数(人)				
直営	2010	12,072				
	2011	1,066				
	2012	1,102				
	2013	11,484				
指定管理者導入	2014	13,032				
	2015	15,116				
	2016	15,669				
	2017	15,199				
	2018	11,073				
	2019	13,800				



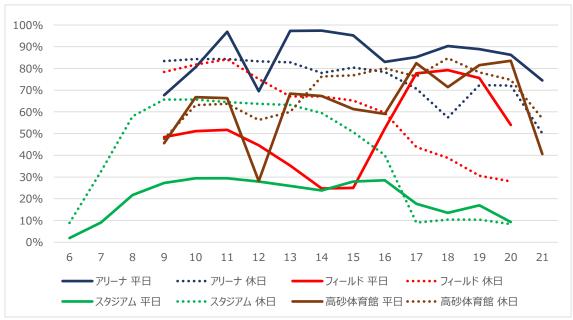
※2018 年度は照明 LED 化工事による利用制限により、2019 年度はコロナウイルス感染症の影響により利用者数が減となっています。

市内体育施設利用者(合計)							
	年度	利用者数(人)					
直営	2010	343,115					
	2011	309,822					
	2012	365,439					
	2013	366,049					
指	2014	416,831					
定	2015	442,928					
管理	2016	416,148					
者	2017	436,513					
導	2018	422,366					
入	2019	411,283					
直営4カ年平均(人)		346,106					
導入後6カ年平均(人)		424,345					



図 2-7 指定管理者制度導入前後における利用者数の推移(2)

また、各施設の平日、休日別の稼働率を図 2-8に示します。概ね平日よりも休日の方が稼働率は高い傾向にあります。特に屋外施設については、平日の稼働率が休日よりもかなり低く、どのように有効活用していくかが課題となります。



※各稼働率は各時間台の利用率となっている

※たつのこアリーナはメインアリーナの稼働率を記載している。

※各施設の開館時間は次のとおり

たつのこアリーナ、高砂体育館:9時~22時

たつのこフィールド:9~21 時 たつのこスタジアム時間 6-21 時

図 2-8 平日、休日別の稼働率(令和元年度)

(3)施設の方向性及び整備手法

安全性・機能性、経済性に耐震性を加え、図 2-2のフローに沿って検討した施設の方向性及び整備手法の結果は表2-19のとおりです。なお、施設の整備手法について、付帯施設や設備は使用状況により大きく耐用年数が変わることから、個々の施設状況を見ながら、修繕等について適宜検討していくこととします。

表 2-19 経済性の方向性及び整備手法

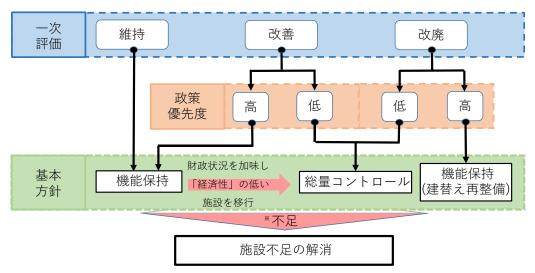
区分	施設名	施設種別	安全性・ 機能性 評価	経済性評価	耐震 性 評価	施設の 方向性	施設の 整備手法
総合運動公園	総合体育館 「たつのこアリーナ」	1階	良	良	あり	維持	長寿命化
		2階	良	良	あり	維持	長寿命化
		地階	良	良	あり	維持	長寿命化
		屋外プール	良	良	あり	維持	長寿命化
	陸上競技場 「たつのこフィールド」	スタンド	良	良	あり	維持	長寿命化
		フィールド	良	良	対象外	維持	現状維持
		北便所	良	良	対象外	維持	現状維持
		南便所	良	良	対象外	維持	現状維持
		倉庫	良	良	対象外	維持	現状維持
		照明塔	良	良	対象外	維持	現状維持
		バックスタンド	良	良	対象外	維持	現状維持
		北新便所	良	良	対象外	維持	現状維持
	野球場	スタンド	良	良	あり	維持	長寿命化
	「たつのこスタジアム」	スコアボード	良	良	対象外	維持	現状維持
		照明塔	良	良	対象外	維持	現状維持
		便所	良	良	対象外	維持	現状維持
		野球場	良	良	対象外	維持	現状維持
		多目的広場	良	良	対象外	維持	現状維持
屋内体育施設	高砂体育館	体育館	良	良	あり	維持	長寿命化
屋外体育施設	高砂野球場	グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持
	小貝川市民運動公園	グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持
	若柴公園	テニスコート	良	良	対象外	維持	現状維持
	城南スポーツ公園	テニスコート	良	良	対象外	維持	現状維持
	大正堀川運動公園	テニスコート	良	良	対象外	維持	現状維持
		グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持
	龍ヶ岡公園	テニスコート	良	良	対象外	維持	現状維持
	工業団地運動公園	グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持
	北竜台公園	グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持
		ディスクゴルフ	良	-	対象外	維持	現状維持
	横田川運動公園	グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持
	羽原川運動公園	グラウンド	良	良	対象外	維持	現状維持

第3章 スポーツ施設における対策の優先順位

3. 1 ストック適正化に関する基本方針

スポーツ施設の対策の優先順位検討にあたり、本節ではストック適正化の考え方に基づく、個々の施設の方向性について整理します。

第2章の施設の現況評価によると、全てのスポーツ施設について維持方針となり、図 3-1のフローに従うと機能保持となります。しかしながら、第1章で見たとおり、今後の人口減少やそれに伴い市税収入が伸び悩むことを鑑みると、機能は保持するものの、ストックについては適正化を図っていかなければなりません。



※既存施設の有効活用等を十分検討した上で、政策優先度を満足できない場合

参考:スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁、平成 30 年 3 月)p.39

図 3-1 個別施設の方針

公共施設等総合管理計画では、マネジメントの基本方針として、「総量の削減」、「既存施設の有効活用」、「効果的・効率的な管理運営」の3つの方針を掲げ、更に施設類型別に具体的な方針を定めていますが、その内容を踏まえ、以下をスポーツ施設のストック適正化に関する基本方針とします。

1. 総量の削減

- ・総合運動公園は、将来の更新時等には市民ニーズや人口動向を踏まえ、 適正な規模を検討します。特に、学校体育館や民間施設等の市の他のスポーツ機能の活用も検討し、減築を基本とします。
- ・高砂体育館は、将来の更新時等には未利用施設の活用等により規模の縮 減を検討します。

2. 既存施設の有効活用

- ・余裕スペースについては民間活力等の活用により、有効活用を図ります。
- ・法定点検や公共施設点検チェック等により、施設の安全性や品質の維持・向上に努めます。
- ・ニュースポーツといった新たなニーズについては、既存施設の活用を優 先して検討します。
- ・民間事業者との連携も視野に入れ、稼働率の向上を検討していきます。

3. 効果的・効率的な管理運営

- ・指定管理者制度で運営していますが、指定管理料と利用者に対するサービス等を定期的に評価し、指定管理等の見直しを適宜行います。
- ・維持管理費を分析し、各種コスト縮減対策を検討するとともに、計画的 な予防保全により施設の長寿命化を図ります。
- ・たつのこアリーナは、防災拠点として必要な機能の維持・確保を行います。
- ・環境衛生に配慮した運営及び設備の導入等を検討します。

個別施設の今後の方向性は以下のとおりとします。

表3-1 個別施設の今後の方向性

区分	施設名	方向性
総合運動公園	総合体育館「たつのこアリーナ」 陸上競技場「たつのこフィールド」 野球場「たつのこスタジアム」	 施設は当面維持していきますが、建替え時には市民ニーズや人口動向を踏まえ、学校や都市公園等、民間における運動施設の整備状況を踏まえつつ、適正規模を検討します 民間事業者との連携も視野に入れ、稼働率の低い時間帯の有効活用を検討していきます
屋内体育施設	高砂体育館	施設はできる限り延命化し、寿命を迎えるまで維持していきます建替え時は未利用施設の活用等により縮減を検討します

区分	施設名	方向性
屋外体育施設	高砂野球場 小貝川市民運動 公園 城南スポーツ公園 大正堀川運動公園 龍ヶ岡公園 工業団地運動公園 北竜台公園 横田川運動公園 羽原川運動公園	● 施設は当面維持していきます

3. 2 長寿命化に関する基本方針

スポーツ施設の対策の優先順位検討にあたり、本節では今後維持する施設についての保全の考え方について整理します。

3.2.1 長寿命化対策の考え方

建物を長寿命化し、長期的に使用するには、構造躯体を健全に保つこと(耐久性)や社会状況の変化等に対応した機能を付加していくこと(機能性)が求められます。

本市のスポーツ施設は予防保全による長寿命化を基本とし、計画的に修繕、更新することで劣化に対する原状回復等を図り、建物の耐久性を保全します。一方、付帯設備等については、事後保全による維持を図っていきます。

表 3-2 保全手法

予防保全	建物の部分等に不具合・故障が生じる前に修繕等を行い、性能・機能を所定 の状態に維持する。
事後保全	劣化・機能停止等を発見次第、適宜、修繕・更新等を実施する。

表 3-3 修繕、更新の定義

修繕	建物の機能・性能を実用上支障のない状態まで回復させること。ただし、分解整備等や定期的な小部品の取換えは除く。
更新	建築部材の全面的な取替え、設備機器・部材全体の取り替えること。

資料:平成31年版建築物のライフサイクルコスト(一般財団法人建築保全センター)

さらに、必要に応じて機能向上を図るための改修工事を実施し、建物の機能を現在求められている水準まで引き上げ、長期的な使用を目指します。

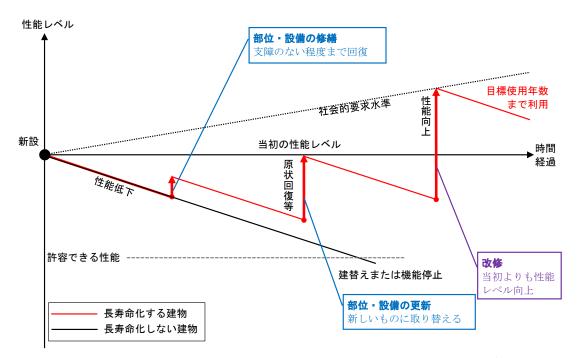


図 3-2 長寿命化による建物の長期的な使用のイメージ

3.2.2 保全方法

建物は、様々な部位(部材)・設備で構成されており、その部位(部材)・設備によって耐用年数が異なるため、劣化した場合の安全性、執務等の施設機能への影響、他の構成要素や建物全体に波及する影響、修繕内容等に応じて保全手法を選択します。

部位・設備ごとの保全手法は下表のとおりです。

表 3-4 各部位・設備ごとの基本的な保全手法

部位・設備	考え方	保全手法
屋根・屋上	○劣化が進めば、防水効果が薄れて漏水を引き起こし、構造 躯体の劣化や室内の仕上げ材及び設備機器の損傷を招く。 ○構造躯体の脆弱化を予防するため、漏水を未然に防ぐ等 の早期の対応が求められる。	予防保全
外壁・外部建具	○ひび割れや建具周りのシーリングの劣化等により漏水し構造躯体の劣化や室内の仕上げ材及び設備機器の損傷を招く。 ○タイル等の仕上げ材の落下により、人的被害が発生する危険性が高まる。	予防保全
内部	○美観への影響等を除けば、破損等が生じてからの対応でも 大きな支障がない。	予防保全 (事後保全)
電気設備・機械設備	○適切な維持管理が行われていないと機能低下・機能停止により施設機能が停止する等の深刻な運営上の影響がある。 ○各点検等の義務付け、厳守するべき保安規程、清掃の義務付け等がある。	予防保全

3.2.3 目標使用年数

躯体の耐用年数は、次表に示すとおり、各種法令等で異なります。

本計画では、各種法令や物理的耐用年数等を踏まえ、「標準耐用年数」を 60年、予防保全による長期使用期間の目安として「目標使用年数」を 80年と設定します。

なお、今後の建物の劣化状況、機能劣化への対応状況、それらに対する費用対効果等によっては、目標使用年数に満たなくても改築等を行うことも可能とします。

	建物構造	1. 建築物 の耐久計 画	2. 建築工 事標準仕 様書	3.減価 償却	4. 学校施 設財産処 分		6. 都市再開発法
SRC	鉄骨鉄筋コンク リート造 鉄筋コンクリー	60年	65年	事務所用 50 年 学校用	H12年以 前60年 H13年以 路47年	耐火 70 年	事務所、 図書館等 50 年 学校 47

47年

年

表 3-5 各種法令等による躯体構造別の耐用年数

- 1.建築物の耐久計画:建築物の耐久計画に関する考え方(1988年10月 日本建築学会)
- 2.建築工事標準仕様書: 建築工事標準仕様書(JASS5鉄筋コンクリート工事 2009 年 日本建築学会)
- 3.減価償却:減価償却資産の耐用年数に関する省令(改正:平成30年3月31日 財務省令第31号)
- 4.学校施設財産処分:学校施設の老朽化対策について~学校施設における長寿命化の推進~」(平成 25 年3月 文部科学省)
- 5.公営住宅法:公営住宅法施行令(改正:平成29年12月22日 政令第319号) 6.都市再開発法:都市再開発法施行令(改正:平成30年6月6日 政令第183号)

表 3-6 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

構造種別	鉄筋コンクリート造		鉄骨造				
	鉄骨・鉄筋コ	鉄骨・鉄筋コンクリート造		重量鉄骨		ブロック造 れんが造	木造
用途	高品質	普通品質	高品質	普通品質	軽量鉄骨		
	の場合	の場合	の場合	の場合			
学校	Yo 100	Y 0 60	Yo 100	Y ₀ 60	Y ₀ 40	Y 0 60	Yo 60
官庁	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上
住宅 事務所 病院	Y。 100 以上	Yo 60 以上	Yo 100 以上	Yo 60 以上	Yo 40 以上	Yo 60 以上	Yo 40 以上
店舗 旅館 ホテル	Y。 100 以上	Y。 60 以上	Yo 100 以上	Y。 60 以上	Yo 40 以上	Yo 60 以上	Yo 40 以上
工場	Y ₀ 40 以上	Yo 25 以上	Yo 40 以上	Yo 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Yo 25 以上

資料:建築物の耐久計画に関する考え方(1988年10月 日本建築学会)

※Yo:目標となる耐用年数をある範囲で示した時の「級」を表す。

※高品質の場合と普通品質の場合があるが、特殊な場合は想定せず、普通品質とする。

※本計画の対象施設の用途は事務所に該当するものとし、目標耐用年数を 60 年以上とすることが望ましいと考えられる。

表 3-7 目標耐用年数の級の区分の例

目標耐用年数級	代表値	範囲	上限値	下限値
Yo 150以上	150年	120~200年	200年	120年
Yo 100以上	100年	80~120年	120年	80年
Yo 60以上	60年	50~80年	80年	50年
Yo 40以上	40年	30~50年	50年	30年
Y ₀ 25以上	25年	20~30年	30年	20年
Yo 15以上	15年	12~20年	20年	12年
Yo 10以上	10年	8~12年	12年	8年
Yo 6以上	6年	5~8年	8年	5年
Yo 3以上	3年	2~5年	5年	2年

資料:建築物の耐久計画に関する考え方(1988年10月 日本建築学会)

※Yo=60以上の場合、目標耐用年数の範囲は50~80年、代表値は60年とされている。上限値は80年であり、適切な維持管理により80年程度持たせるような長寿命化が可能と考えられる。

表 3-8 本計画における標準耐用年数と目標使用年数

種類	年数	根拠
標準耐用年数	60年	•「建築物の耐久計画」における、普通品質の建物の耐用年数の範囲の代表値、「公共施設等更新費用試算ソフト(総務省)」の初期値を踏まえて設定
目標使用年数	80年	・「建築物の耐久計画」における、普通品質の建 物の耐用年数の範囲の上限値に基づき設定

3.2.4 部位・設備の修繕・更新周期

標準耐用年数及び目標使用年数まで施設を安全で快適に使用するためには、 部位・部材及び設備ごとの劣化に対処するとともに、社会的な要求レベルの変化 に対応して建築物の性能を向上させることが必要です。

部位・設備等の仕様内容によって修繕・更新周期は異なりますが、標準的なおおむねの修繕・更新周期は下表に示すとおりです。基本的には劣化状況に基づき計画的な保全を行っていきますが、特に★のついた予防保全対象部位については、不具合が発生することで建物の寿命を著しく縮めたり、安全で快適な施設の使用を損なうことにつながるため、優先的に対策を講じていきます。

表 3-9 周期ごとの改修内容の目安

◆15年目			★:予防保全対象部	部位
電気	電力	照明器具	LED灯(ダウンライト)	
		照明制御装置	照明制御装置_天井埋込形(明るさセンサ・人感センサ)	
	電力貯蔵・発電	太陽光発電装置	ハ゜ワーコンテ゛ィショナー	
	通信・情報	防犯・入退室管理(防犯)		*
機械	空調	空調弁類		*
		制御弁装置		*
		計器		
	自動制御			*
	給排水衛生	湯沸器		*
		給水給湯弁類		*

◆20年目			★:予防保全対象	部位
建築	屋根	雑	屋根シーリング	*
	外部	壁	塗装(コンクリート面)	*
			シーリンク゛	*
電気	電力貯蔵・発電	直流電源装置		
	通信・情報	構內交換	電話機	************
		情報表示(時刻表示・出退表示)		
		映像・音響		
		拡声	増幅器壁掛形	***************************************
		テレビ共同受信		
		防犯・入退室管理(カメラ)		*
	通信・情報(防災)	ガス漏れ火災警報		*
	中央監視	中央監視制御		*
	避雷・屋外	高圧引込		*
		外灯		
機械	空調	空気調和機	空調機カセット形	*
		冷凍機		*
		冷却塔		*
		空調ポンプ		*
	給排水衛生	給排水ポンプ		*

◆25年目			★:予防保金	と対象部位
建築	屋根	露出防水		*
電気電力	電力	照明器具	蛍光灯	
		照明器具(非常照明)		*
		照明器具(誘導灯)		*
	電力貯蔵・発電	太陽光発電装置	電池モジュール	000000000000000000000000000000000000000
			表示装置(屋内壁掛型)	***************************************
	通信・情報	拡声	スヒ [°] ーカ	
		誘導支援(インターホン)		
		誘導支援(呼出)		
	通信・情報(防災)	自動火災報知		*
		自動閉鎖		*
機械	給排水衛生	給水給湯配管類	ピーニル管	*

1720 1720	143711311131	141 T 114 785 115 11 781	о н. <u>П</u>	_ ^
◆30年目			★:予防保全対象	部位
建築	外部	雑	手すり	Т
	内部	床	タイルカーへ゜ット敷き	***************************************
			フリーアクセスフロア(オフィス用)	
電気	電力	電線保護物類	電線管(屋外露出)	
		照明器具	LED灯(直付)	una
		分電盤		
		OA盤		
		開閉器箱		
		制御盤		
	受変電	高圧受配電盤		*
		高圧コンデンサ盤		*
		高圧機器		*
	電力貯蔵・発電	ディーゼル発電装置(非常用)		*
	通信・情報	電線保護物類	電線管(屋外露出)	
		構内交換	電話用アウトレット(埋込)	
機械	空調	煙道		
		空気調和機	空調機(屋外機)	*
		空調タンク類		*
		制気口・ダンパー		*
		空調配管類		*
	換気	送風機		*
		換気口	排気フート	
	給排水衛生	給水給湯タンク類		*
		給水給湯配管類	銅管、ステンレス鋼管、塩ビライニング鋼管	*
		排水配管類		*
		浴槽		
		その他衛生設備	ろ過機	*
	消火	消火ポンプ		*
		消火配管類		*
	昇降機その他	エレヘ゛ーター		*

◆40年	1		★:予防保全対象部	位
建築	屋根	雑	笠木	
	外部	# 笠木 複層仕上塗材(コンクリート下地) アルミ製 鋼製 鋼製軽量親子開扉SOP 壁 天井	*	
	外部建具			*
	内部建具	鋼製	鋼製軽量親子開扉SOP	
	内部	壁		
		天井		
		雑	便所スクリーン、化粧洗面カウンター、ブラインド	
			流し台、プラインドボックス	
電気	電力	電線類		
		電線保護物類	端末処理、防火区画貫通処理、分岐処理	
	通信・情報	電線類		
		電線保護物類	類 防火区画貫通処理	
		 電線類 電線保護物類 端末処理、防火区画貫通処理 情報 電線保護物類 構内交換 端子盤 	端子盤	
	避雷・屋外	避雷		
機械	空調	空調ダクト		
	内部 壁 天井 種 便所スクリーン、化粧洗面カウンター、プラインドボックス 電線類 電線保護物類 端末処理、防火区画貫通処理、分岐 通信・情報 電線類 電線保護物類 防火区画貫通処理 分岐 横内交換 端子盤 端子盤 端子盤 端子盤 端子盤 一次換 端子盤 一次換 端子盤 一次換 端子盤 一次換 一次が 次十、キャッフ 一次が 本・大・大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	へ゛ント゛ キャッフ	H-00-01	
	給排水衛生	衛生陶器類		
		水栓		******
	消火	屋内消火栓		*
		連結送水管		*
		スプ゜リンクラー		*

◆50年目 ★:予防保全対象部							
建築	<mark>築 屋根 雑 神 で質塩化ピニル管外部組</mark>						
	外部	壁	タイル張り	*			
	外部建具	ステンレス製					
		ステンレス製					
	内部	床	フローリング 張り				
			畳敷き				

◆60年目			★:予防保全対象部位
建築	外部	アルミ製成形板	
		カーテンウォール	アルミ製嵌殺パネル ★
	<mark>内部 床 合</mark> 床		合成樹脂塗床
			ビニル床タイル張り
			ピニル床シート張り

資料:平成31年版建築物のライフサイクルコスト(一般財団法人建築保全センター)

3.2.5 施設整備の水準

施設整備にあたっては、躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建物の建設当初の水準に戻すだけでなく、耐久性に優れた仕上げ材への取替えや耐震対策、防災機能の強化、省エネルギー化、バリアフリー化等の性能の向上といった現在の社会的ニーズに対応するため、基本的性能の向上も図ります。

公共施設に求められる基本的性能は、下表に示すとおりです。

表 3-10 公共施設に求められる基本的性能

種類	概要
安全性	防災性、機能維持性、防犯性
機能性	利便性、ユニバーサルデザイン、室内環境性、情報化対応性
経済性	耐用性、保全性
社会性	地域性、景観性
環境保全性	環境負荷低減性、周辺環境保全性

3.2.6 改修等の優先度

① 長寿命化改修等の優先度

長寿命化改修等の大規模な工事を実施する場合、膨大な費用がかかります。 そのため、複数の建物の工事時期が重なりそうな場合は、建物の建築時期、劣 化状況(劣化状況調査の総合評価点の活用)、施設の果たす役割、緊急性等を 考慮の上、優先度を検討し、実施します。

年度	2021	2022	2023	2024	2025		総合評価 点
建物1		長寿命 化改修		長寿命 化改修			344
建物2				長寿命 化改修			594
建物3				長寿命 化改修		長寿命 化改修	626

図 3-3 劣化状況を考慮した長寿命化改修の実施時期の調整のイメージ

② 部位の修繕・更新の優先度

建物は様々な部材等で構成されており、修繕・更新時期は、用いられている 部材等の種別や劣化の状況により異なります。そのため、部位の修繕・更新は、 劣化状況に応じて優先度を検討し、実施します。

良好	評価	基準	修繕・更新の 優先度
/	Α	おおむね良好	低
	В	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	普通
	С	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	優先
	D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し、施設運営に支障を与えている)等	最優先
 劣化			

図 3-4 部位の修繕・更新の優先度の考え方

③ 個別施設の劣化状況

現地調査による個別施設の劣化状況を表 3-11に示します。総合運動公園の3施設については、部分的に劣化が見られます。また、高砂体育館については、緊急性は低いものの対策が必要です。

表 3-11 現地調査に基づく個別施設の劣化状況

						劣化度評価							
区分	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度	経年	構造	経過劣化度	構造部	屋根・屋上	外壁	内部	機械設備	電気設備	総合評価
総合運動公園	総合体育館 「たつのこアリーナ」	10,576.11	2002	19	SRC、 一部S	64	В	В	В	В	В	В	739
	陸上競技場 「たつのこフィールド」	1,635.80	2005	16	RC	70	В	В	В	В	Α	Α	795
	野球場 「たつのこスタジアム」	854.83	2008	13	RC	76	В	В	В	В	Α	Α	801
屋内体育施設	高砂体育館	878.03	1983	38	S	3	С	Α	В	В	В	С	623

現地調査の調査項目は表 3-12のとおりで、総合評価点については図 3-5のとおり、4段階の劣化度に応じて点数付けを行い、建物を長寿命化 する上で重要な部位ほど、点数に重みづけして評価をしています。

表 3-12 現地調査の項目

部位•設備		主な調査項目
構造部		ひび割れ、さび汁、白華、鉄筋露出、欠損等
建築	陸部位	
	屋根•屋上	屋上床面のひび割れ・浮き・剥離・摩耗等、目地・シーリング材の損傷等、排水溝・排水口・雨樋のつまり等
	外壁	外壁仕上材の剥落・白華・ひび割れ・浮き・さび・変 形等、目地・シーリング材の損傷等
	内部	天井・壁の漏水跡、天井・壁・床の仕上材の浮き・た わみ・ひび割れ・剥落・損傷等
機材	戒設備	給排水設備、空調・換気設備、衛生設備、消防設備の 不具合等
電気設備		受変電設備、照明器具の不具合等

●経過劣化度

経過劣化度=(T-t)/T×100

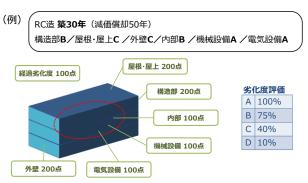
(ただし、T < t の場合は経過劣化度=O)

T:構造別の法定耐用年数 t:建築後の経過年数

●各部位の劣化度

評価	構造部、屋根・屋上、外壁	内部、機械設備、 電気設備
Α	概ね良好	20年未満
В	部分的に劣化	20年~40年
С	広範囲に劣化	40年以上
D	早急に対応する必要あり (安全上、機能上、問題あ り/躯体の耐久性に影響を 与えているなど)	経過年数に関わら す著しい劣化事象

●総合劣化度評価点(1,000点満点)



経過劣化度	100×((築年数)÷(減価償却年数))
	=100× (30÷50)=60(点)
構造部	200×0.75=150(点)
屋根·屋上	200×0.40=80(点)
外壁	200×0.40=80(点)
内部	100×0.75=75(点)
機械設備	100×1.00=100(点)
電気設備	100×1.00=100(点)
合計	645(点)/1,000(点)

図 3-5 総合劣化度評価点の考え方

第4章 長寿命化等の対策費用とロードマップ

総合運動公園及び高砂体育館についての将来の改修等費用を試算します。試算条件は以下のとおりです。

(試算条件)

- 「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト(国交省監修)」の 修繕・更新周期と単価を用い試算した。
- 「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト(国交省監修)」に掲載された代表的な建物モデルを活用し、1,000 ㎡以下の建物は「小規模事務庁舎」モデルを 1,000~10,000 ㎡の建物は「中規模事務庁舎」を適用した。
- ただし、「たつのこアリーナ」にはプールがあり、通常の事務庁舎になく、改修等に大きな費用のかかるろ過機があるため、給排水衛生の設備更新単価を実績に基づき3倍とした。
- 費用は部位・設備の全ての更新費用と屋根・屋上、外壁の予防保全 対象部位の修繕費用を計上した。
- 使用年数は標準使用年数を建築後 60 年、目標使用年数を建築後 80 年とし、標準使用年数を適用した場合に、建替え時期を迎える 「高砂体育館」については標準使用年数を適用したケースと目標使 用年数(80年)を適用したケースの2パターン実施した。

施設毎の今後 10 年間のロードマップと 40 年先までの更新等費用の試算結果を示します。経過年数に応じた改修内容は表 3-9のとおりです。

(1)総合体育館「たつのこアリーナ」

2022 年に築年数 20 年を経過し、屋根・外壁の補修や電気設備、機械設備の更新時期の目安となります。2022 年の電力設備の改修には照明の LED 化事業も含みます。

施設名	区分	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	建築	19	20 屋上防水 破損修繕 /外壁塗 装	21	22	23	24	25 屋上露出 防水更新	26	27	28
	電気		照明LED化 / 中央監視股備 更新/通信・ 情報股備更新					通信•情 報設備更 新			
	機械		空調設備 更新/ 給排水ポ ンプ更新								
	その他										

表 4-1 ロードマップ (たつのこアリーナ)

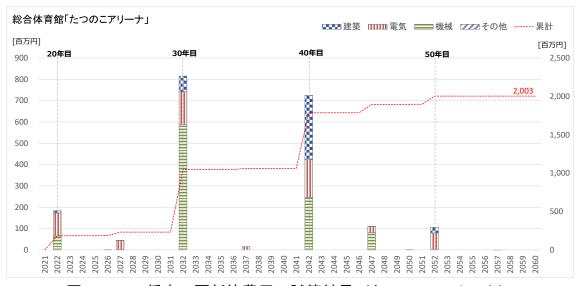


図 4-1 将来の更新等費用の試算結果(たつのこアリーナ)

(2) 陸上競技場「たつのこフィールド」

2025 年に築年数 20 年を経過し、屋根・外壁の補修や電気設備、機械設備の更新時期の目安となります。また、2023 年には照明の LED 化事業を予定します。また、5 年毎に第3種公認継続改修工事を予定します。

施設名	区分	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
陸上競技場	経過年数)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
「たつのこ フィール ド」	建築					屋上防水 破損修繕 /外壁塗 装					屋上露出 防水更新
	電気			照明LED 化		通信•情 報設備更 新					通信・情 報設備更 新
	機械					空調設備 更新/ 給排水ポ ンプ更新					
	その他	第3種公認 継続改修 工事					第3種公認 継続改修 工事				

表 4-2 ロードマップ (たつのこフィールド)

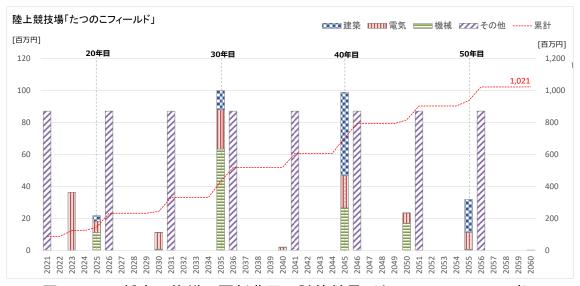


図 4-2 将来の修繕・更新費用の試算結果(たつのこフィールド)

(3)野球場「たつのこスタジアム」

2028 年に築年数 20 年を経過し、屋根・外壁の補修や電気設備、機械設備の更新時期の目安となります。また、2023、2025 年には照明の LED 化事業を予定します。

施設名	区分	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
野球場 「たつのこ スタシア ム」	建築建築	13	14	15	16	17	18	19	全 屋上防水 破損修繕 /外壁塗 装	21	22
	電気			照明LED 化		ナイター 照明LED 化			通信・情 報設備更 新		
	機械								空調設備 更新/ 給排水ポ ンプ更新		
	その他										

表 4-3 ロードマップ (たつのこスタジアム)



図 4-3 将来の修繕・更新費用の試算結果(たつのこスタジアム)

(4) 高砂体育館

2023 年に築年数 40 年を経過し、屋根・外壁の補修や電気設備、機械設備の更新のほか、建物内部の更新時期の目安となります。

2025 施設名 区分 2021 2022 2023 2024 2026 2027 2028 2029 2030 高砂体育館 <a>経過年数
建築 40 38 45 47 屋上防水 破損修繕 /外壁塗 装/内部 改修 電気 機械 トイレ改 トイレ改 修/消火 その他

表 4-4 ロードマップ(高砂体育館)

〈使用年数60年(標準使用年数)〉

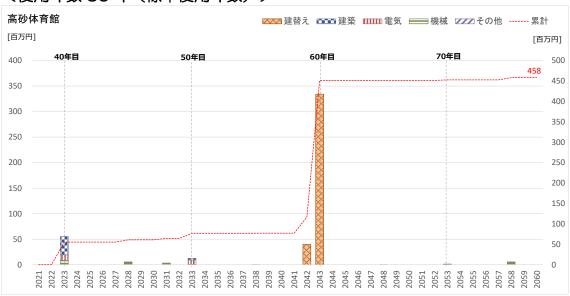


図 4-4 将来の修繕・更新費用の試算結果(高砂体育館、使用年数60年)

<使用年数 80 年(目標使用年数)>

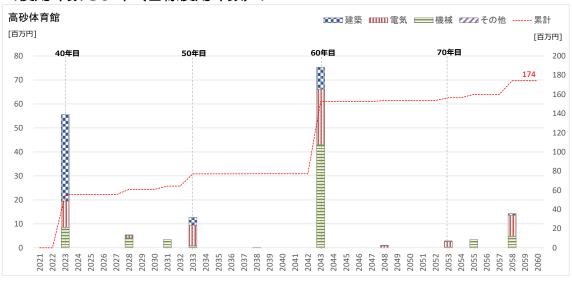


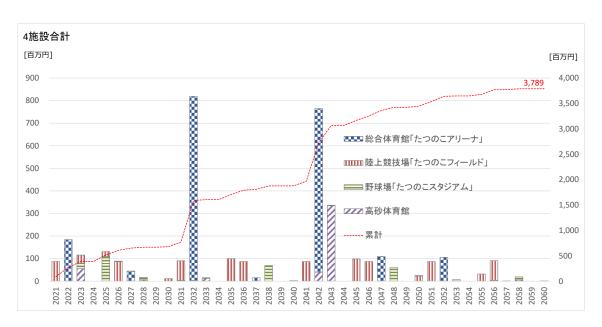
図 4-5 将来の修繕・更新費用の試算結果(高砂体育館、使用年数80年)

(5) 4 施設合計

総合運動公園及び高砂体育館全体の費用を示します。

〈使用年数60年(標準使用年数)>

40年間で37.9億円、年間で0.95億円かかる見込みとなります。



<使用年数 80 年(目標使用年数)>

40年間で35.1 億円、年間で0.88 億円かかる見込みとなります。 <u>長寿命化</u> <u>による対策等の効果額は40年間で2.84億円、年間で0.071億円</u>となります。

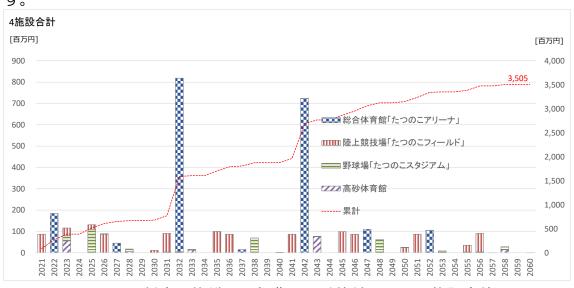


図 4-6 将来の修繕・更新費用の試算結果(屋内施設全体)

第5章 計画の実現化方策

5. 1 フォローアップの実施方策

本計画の進行管理は、本市の公共施設マネジメントを統括する「公共施設等マネジメント戦略会議」において、全体最適化を図りつつ実施していきます。

本計画を着実に推進していくため、PDCA サイクルによる計画の進行管理に 努めます。

また、国の政策、社会情勢や財政状況等の変化、個別施設ごとの進捗状況を踏まえ、必要に応じて、適宜計画の見直しを実施していくものとします。

Plan | 計画

- ・スポーツ施設長寿命化計画 (本計画) の策定
- ・基本方針に基づいた実施計 画の策定
- ・中期事業計画・主要施策アクションプランへ反映

等

Do | 実 行

・基本方針に基づく維持修繕お よび適正運営の実施

等



Action | 処 置

- ・スポーツ施設長寿命化計画 (本計画) の見直し
- ・課題の抽出、改善

等



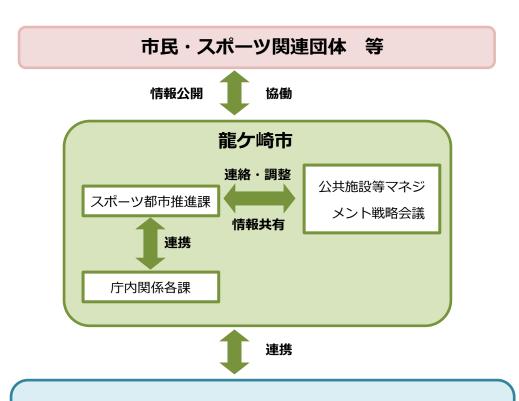
Check | 評 価

- ・本計画等の進捗状況の確認、 効果の検証
- ・指定管理者の管理運営に対する評価シート(年度評価)、稼働率調査等による費用対効果の検証

等

5. 2 推進・取組体制

本計画の推進にあたっては、健康づくり推進部スポーツ都市推進課を主管課とし、市民、スポーツ関連団体等との協働・情報公開に努め、龍ケ崎市スポーツ推進計画審議会との連携とともに、公共施設等マネジメント戦略会議との連絡・調整・情報共有を図り、計画が着実に推進できる体制づくりを行っていきます。



能ケ崎市スポーツ推進計画審議会 龍ケ崎市指定管理者選定委員会 龍ケ崎市公共施設等マネジメント推進委員会 等